

File 004 意外に穴場！
アーバンなキャンプ場



① 一大ブームとなっているアウトドア。山陰でアウトドアの聖地と言えば、中国地方最高峰の大山をはじめ、島根半島、三瓶山などが有名ですが穴場なのが安来市のキャンプ場。アクセスが良く市街地からも近いことから、近隣市町から遊びに来る人が多く、アウトドア系 YouTuber もやってくることもあるとか。

写真②は「十神山なぎさ公園キャンプ場」。安来駅からも近く、ソロやファミリーににぎわう人気のスポットです。安来人は

海と呼ぶ「中海（汽水湖）」に面したシーサイドロケーションがグッド。もちろん微かなさざ波の音が聞こえますよ。

一方、スタービューで人気なのが、写真③の「山佐ダムキャンプ場」。広大な敷地とダム湖に面した立地で落ち着いた雰囲気（周りに何も無い）、多くのキャンパーを魅了します。圧巻は夜。360度に広がる満天の星に囲まれて過ごすことができます。皆さんも充実したアウトドアライフを！（安）

- ① 十神山なぎさ公園キャンプ場 (安来市安来町2273-1)
安来駅から徒歩15分 駐車場有
周辺スポット：和綱博物館(26分)、安来懐古館一風亭(27分)、安来港赤灯台(10分)
※()内は十神山なぎさ公園からの徒歩時間
- ③ 山佐ダムキャンプ場(安来市広瀬町上山佐654番地5)
安来ICから車で35分
周辺スポット：嫁来い観音・婿来い地藏(5分)、天馬山の割れ石(登山道入り口まで10分)、月山富田城跡(25分)
※()内は山佐ダムからの時間(車)

やすぎ映えスポット

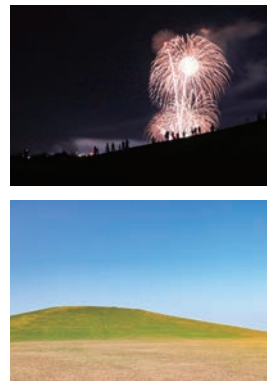
File 003 中海ふれあい公園の築山
令和の新山

国道9号を米子方面に向かっていくと、道の駅あらエッサ付近の中海側に緑色のなだらかな丘が見えます。そこそが今ご紹介する中海ふれあい公園のシンボル「築山」です。

標高は約8m。近隣でも類を見ない広大な芝生広場の中央に鎮座しています。週末には多くの家族連れで賑わっており、もっぱら登山客は子どもたち。

背後には大山や中海、米子の街並みを望むことができるので、撮影する標高によつては面白い背景に。子どもたちの笑顔あふれる映え写真を撮れること間違いなしです。

さらに、おススメで楽しむことができるのが夏と冬の特定の日。夏は、米子市で開催されるがいな祭りの花火大会の観賞場所として解放されています。また、積雪の日には、緩やかな傾斜はソリ遊びにバッチリです。(村)



- 安来市穂日島町143番地
駐車場開場時間【4月～10月】8:30～19:00【11月～3月】8:30～18:00
- 周辺のスポット：
道の駅あらエッサ(1分)、清水寺(15分)、観光みかん園(10分)、観光いちご園(1分)
※()内は中海ふれあい公園からの時間(車)

推しのイッピン

File 004 木育インストラクターがこだわった
シンプルで温もりのあるおもちゃ棚

木の手触りや
香りを楽しむ
ことができます



大谷 俊行さん

安来市伯太町にある木工家具製作所「Ton-ton」。子どもたちに自然の在り方や物作りの術を大自然の恵みを通して伝えたい、そんな願いを込めて「Ton-ton(トントン)」は生まれました。工房名は金づちを叩くときに響くトントントン…という音からつけられました。

木育インストラクター・保育ナチュラリストの資格を持つ家具職人ならではの視点から、子どもたちのためにさまざまな木のおもちゃや家具が製作されています。

そんな職人から遊びと学びを実体験できるお片付け専用の棚が誕生。形・サイズ感・材質にこだわって開発、製作されたオリジナルの棚は、おもちゃだけでなく絵本や図

「おもちゃお片付け棚90サイズ」



※おもちゃ等は付属しません

鑑なども収納できるように、中段の棚板は可動式になっています。

ディスプレイされたおもちゃや本を遊び終えたらお片付けまでできる、遊びと学びの要素が詰まったお片付け棚(サイズは60×90の4種類)。同じくシンプルさを重視して製作されたオリジナルのキッチンセット「ちびっこキッチン」と組み合わせお使いいただけます。

無垢の木を使った集成材で丁寧に仕上げたおもちゃや家具は子どもたちに安心感を与えます。シンプルだからこそ、子どもたちの想像力を思い切り使って遊べるイッピン。安来市ふるさと納税返礼品にも採用されています。(由)



File 003 「純米しょうゆ」はアレルギー対応



山本周作さん



普通の淡口
しょうゆと
同じように
使えます

食物アレルギーのある人にも使ってもらえるように大豆や小麦を使わず、米と塩だけで製造された「純米しょうゆ」が安来市内で製造されています。お子さんがいる20代～40代の女性へのある調査では、およそ2割の家庭で家族の誰かが食物アレルギーを持っているとのこと。食物アレルギーへの対応は安心な食生活を営む上で欠かせないものとなっています。

開発に取り組んだ大正屋醤油店では、「社会貢献としてアレルギーに苦しむ人の助けになりたい」との思いで開発に着手。しかし、完成までなんと「10年の歳月がかかった」と話します。その努力が実って令和2年度優良ふるさと食品中央コンクール「新技術開発部門」で農林水産大臣賞を受賞しています。

グルテンフリーで、おいしさや香りでも一般のしょうゆと遜色なく、食材や調理法を選ばず利用できます。オンラインでの販売も行っているので、ぜひお買い求めください。(荒)